

報道関係者 各位

令和7年11月6日
(照会先)
全国健康保険協会山形支部
企画総務グループ 安達
電話：023-629-7226

協会けんぽの傷病手当金で「精神疾患」が請求傷病第1位 退職後も引き続き精神疾患で傷病手当金を受給される方が多い！

全国健康保険協会（協会けんぽ）では、業務外の病気や怪我による療養のために会社を休み給料を受けられない場合、休業保障として「傷病手当金」を支給しております。

傷病手当金の受給者の状況については毎年調査を行っており、この度令和6年度の調査が完了いたしましたので概要を報告いたします。

概 要

全国健康保険協会（協会けんぽ）で毎年実施している定月（10月1か月の申請分）における傷病手当金の支給状況調査において、この度令和6年10月の調査結果から、山形支部においては以下の状況が判明しました。

- ① 山形支部の支給傷病第1位は、「精神および行動の障害」（全国47支部も同様）
- ② 精神疾患は傷病別割合としては最も高いが、全国の傷病別割合と比較すると5.4P程度低く、高いほうから27番目に位置している。しかし対前年度伸び率は全国平均よりも高くなっている。
- ③ 退職後も引き続き傷病手当金を支給している人のうち、精神疾患を原因とする割合が約63%となり、全国の中でも高いほうから11番目に位置している。前年度と比較して急激に上昇した。
- ④ 在職中・退職後、双方において精神疾患における支給割合が、東京、神奈川、愛知、大阪といった大規模支部が突出して高く、全国平均を押し上げている。東北地方における割合は、全体的には高いが、退職後の支給割合は、山形は東北の中では最も高く、全体の順位も高いほうから11番目と、在職中の順位から16番も上げている。

以上の結果を受けて、協会けんぽ山形支部は、関係団体と連携しながら

- ◆ 事業所における「メンタルヘルス対策」
- ◆ 労働安全衛生法の改正において50人未満事業所においての義務化が決定した、ストレスチェックの早期実施

を、推進してまいります。

そのうち、今後実施する事業は下記の通りです。

- ▶ 山形労働局・山形産業保健総合支援センターと連携した（共催）事業所向け「メンタルヘルスセミナー」の開催

令和7年11月13日14時～ オンライン開催 ※詳細は別添チラシの通り

- ▶ 協会けんぽ主催「メンタルヘルスセミナー」出前講座の実施 等

※調査対象：令和6年10月に支給決定した傷病手当金受給者全員

（なお、この調査における疾病分類は、社会保険表章用疾病分類表による。

そのうち、「特殊目的用コード」には新型コロナウイルス感染症が含まれる。）

【全国】

総支給件数 179,680件
(前年度比 9,723件増)

男性

女性

90,941件
(前年度比 5,533件増)

88,739件
(前年度比 4,190件増)

50.6%

49.4%

(参考) 被保険者数割合

男性

女性

14,807,764人
(前年同月比 116,664人増)

10,880,822人
(前年同月比 361,597人増)

57.6%

43.4%

【山形】

総支給件数 1,536件
(前年度比 178件増)

男性

女性

817件
(前年度比 156件増)

719件
(前年度比 22件増)

53.2%

46.8%

(参考) 被保険者数割合

男性

女性

134,848人
(前年同月比 1,707人減)

102,648人
(前年同月比 848人減)

56.8%

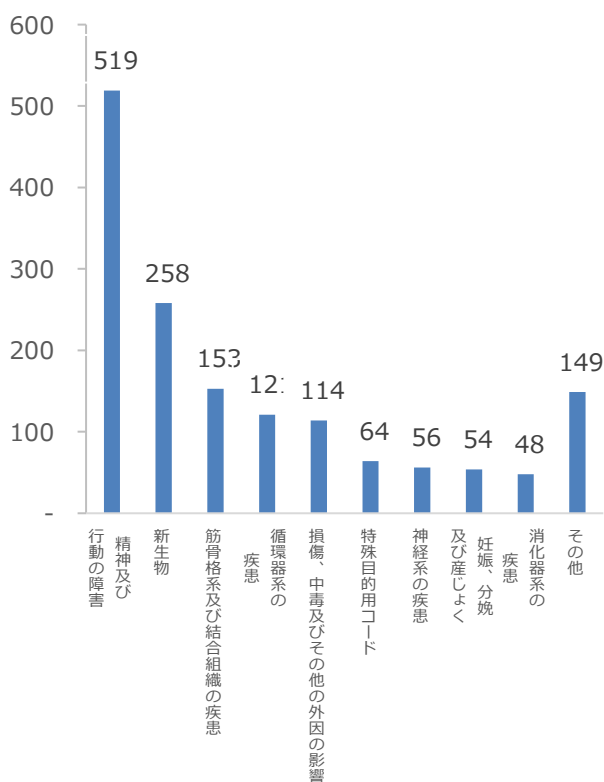
43.2%

1. 山形支部の傷病別の支給状況

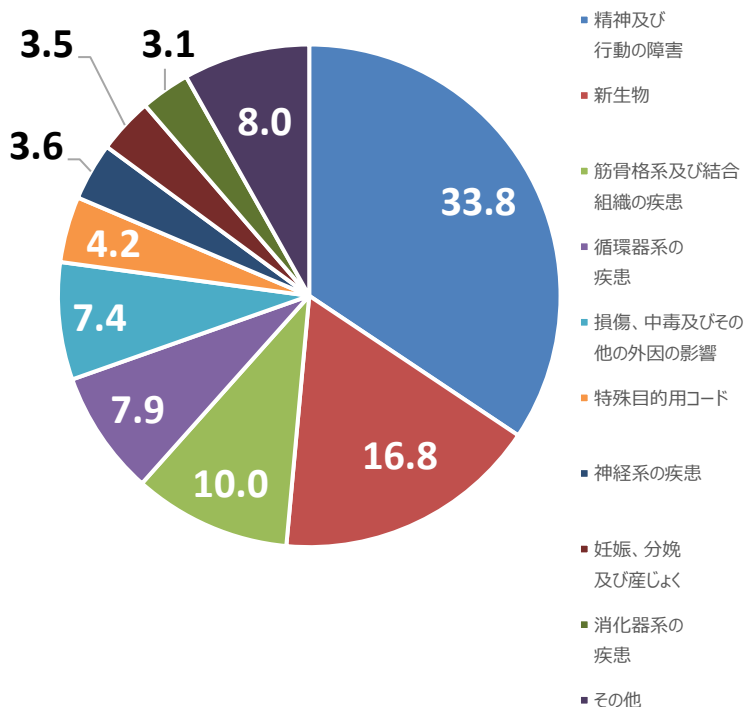
山形支部において令和6年10月に支給決定した傷病手当金の傷病別支給件数構成割合をみると、うつ病などの「精神及び行動の障害」が33.8%で最も高くなっており、次いで、がんの「新生物」が16.8%、腰痛・骨折・捻挫・椎間板ヘルニアなどの「筋骨格系及び結合組織の疾患」が10.0%、脳血管疾患・心疾患などの「循環器系疾患」が7.9%、と続いています。

一方全国の傷病別支給件数構成割合をみると、山形支部と同様に、「精神及び行動の障害」が39.2%と最も高くなっており、次いで「新生物」14.5%、「筋骨格系及び結合組織の疾患」8.8%、「循環器系疾患」7.3%という順位になっています。

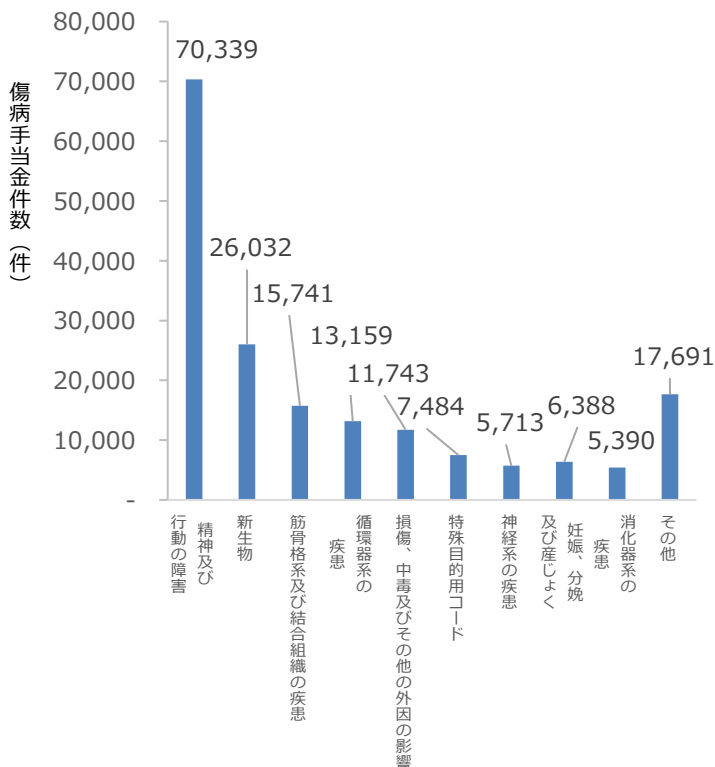
【山形支部における傷病別支給件数】



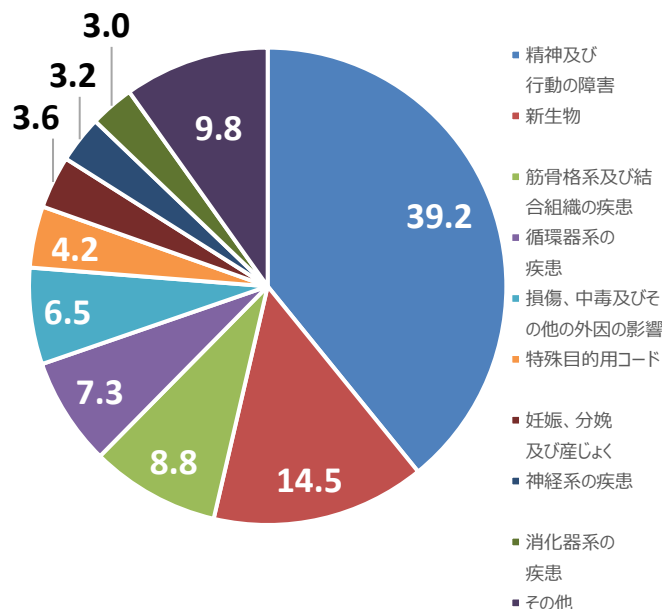
【山形支部における傷病手当金
傷病別支給件数構成割合】



【全国における傷病別支給件数】



【全国における傷病手当金
傷病別支給件数構成割合】



2. 請求原因の推移

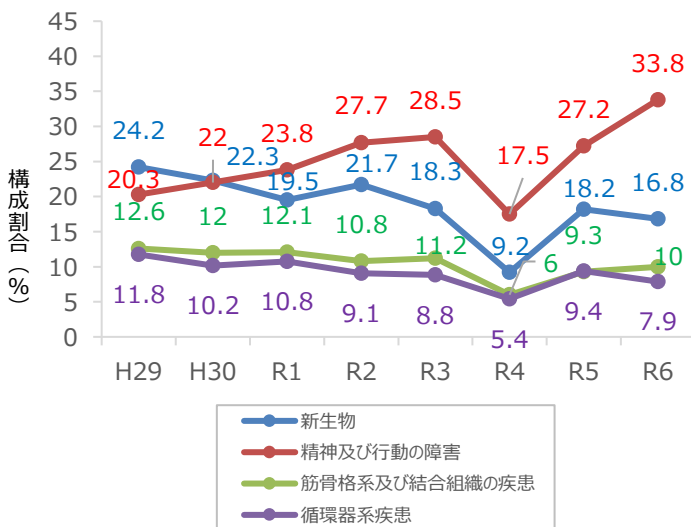
山形支部における傷病別の支給件数構成割合をみると、①精神及び行動の障害（精神疾患）に対する傷病手当金は、令和元年に第1位となってから、継続して請求傷病ではトップとなっております（令和4年度調査においては、新型コロナウイルス感染症による請求が激増したため、請求傷病としては2位となったが、その特異的な動きを除けば継続して請求傷病第1位ということになる）。今回の調査において全国の傷病別支給構成割合と比較すると5.4Pほど低くなっておりませんが、前年度調査時からの伸び率では、全国は3.9P増に対し、山形は6.6P増となっております。

また、新生物における割合が全国比で高い傾向は継続しているものの、全国との差が前年度の4.6Pから今年度の2.3Pに縮小しています。

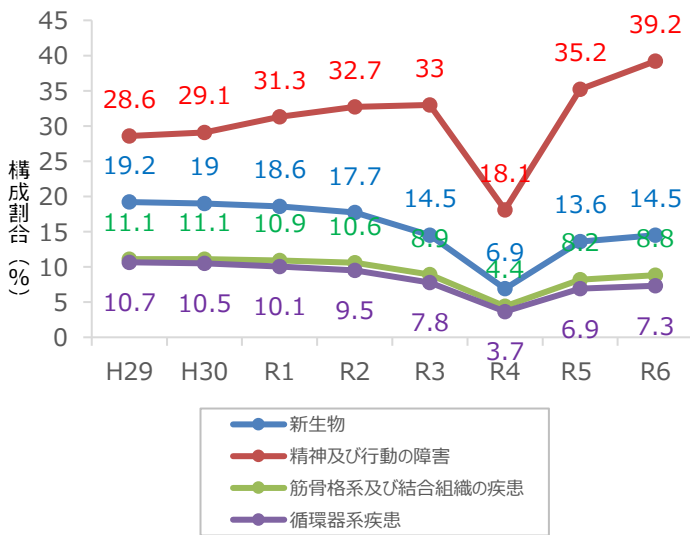
また、支給件数構成割合で4位となっている脳卒中や心筋梗塞などの「循環器系の疾患」の占める割合が、全国比で0.6P高くはあるが、対前年度比では1.5P減少しています。

山形支部の傷病手当金請求件数上位4傷病の支給件数構成割合経年推移

【山形】



【全国】



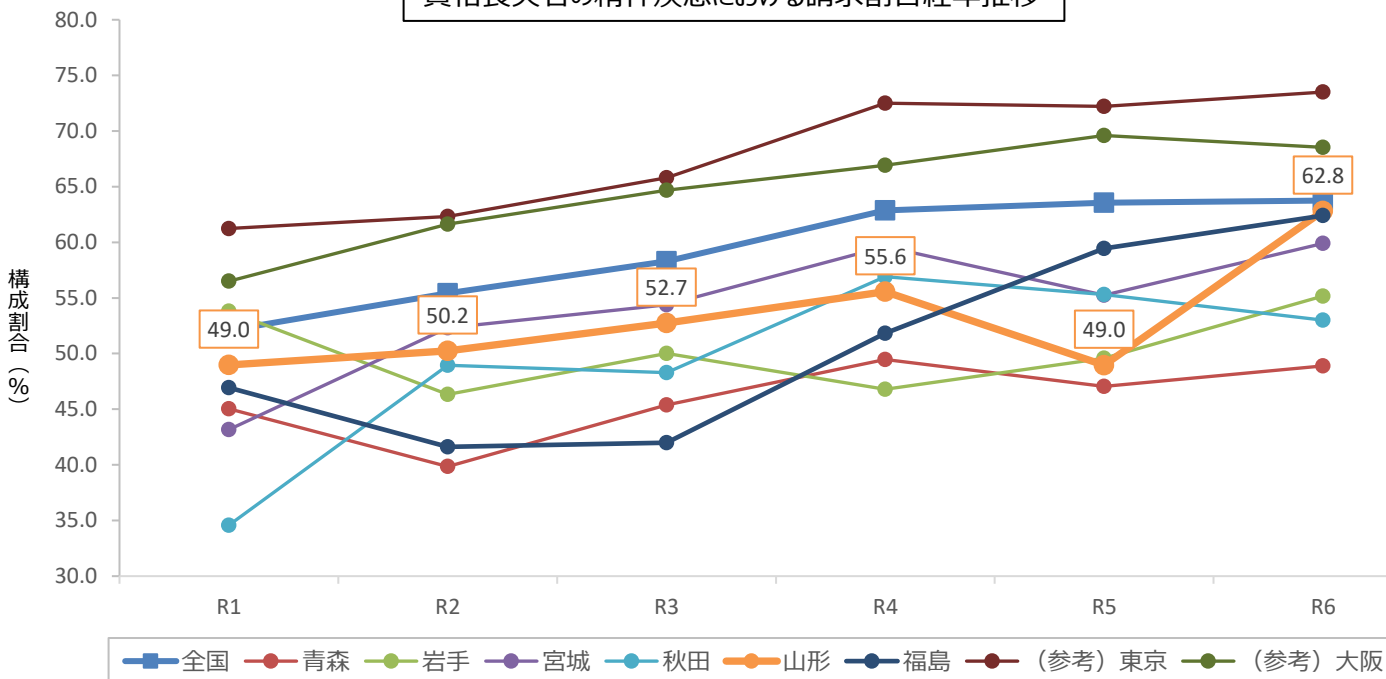
3. 山形支部における資格喪失者の精神疾患における請求割合の推移について

傷病手当金は、退職された場合にも一定の条件を満たすことで退職後も引き続き受給できますが、退職後に精神疾患でお勤めできない状態が継続していることで受給されている方の割合が、全国的に年々増加傾向にあります。

中でも、次のグラフでわかるとおり、山形支部の割合においては、全国平均よりは若干低いものの、他県に比べて対前年度伸び率が突出して高くなっております。

要因としては、退職してからも一定の条件を満たすことで、引き続き傷病手当金が受給できるというサービス内容が浸透してきたという見方ができる一方で、メンタルヘルス不調者が復職することなく退職に至るケースが増加している可能性も高く、今後注視していく必要があります。

資格喪失者の精神疾患における請求割合経年推移



4. 山形支部における今後の課題について

この度の傷病手当金の支給状況調査において、山形支部ではメンタルヘルス不調による休職者割合が増加しており、かつ結果として退職して引き続き受給する被保険者が対前年度比で13.9P増加しており、これは喫緊の課題として対策が必要です。

当支部では「メンタルヘルス対策」への取組強化を目的として、令和4年3月に山形産業保健総合支援センターと健康づくりに関する協定を締結。また昨年12月には山形労働局と働く世代の健康づくりに関する協定を締結しました。今後も引き続き両機関と連携の上、メンタルヘルス事業を推進してまいります。

具体的には、今月13日には2者共催のもと、事業所におけるメンタルヘルスセミナーとして、労働安全衛生法の改正において小規模事業所においても実施が義務化される「ストレスチェック」の意義をご理解いただき、事業所での早期実施を推奨してまいります。

また、今年度から開始した協会けんぽ主催の出前講座「メンタルヘルスセミナー」の受講も継続して推奨してまいります。

働く方々の休業保障である傷病手当金の支給状況とともに、メンタルヘルス対策への取り組みが必要な現状を周知し、疾病発症前に行うべき予防対策の更なる促進の必要性について報道いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

傷病手当金について

【傷病手当金】

会社にお勤めの方が、次の条件を満たした場合に支給される休業保障となる給付金。

- ①仕事とは関係ない病気やケガの療養のための休業であること
- ②それまで就いていた仕事に就くことができないこと
- ③4日以上仕事に就けなかったこと（連続する3日間の休業を含む）
- ④休んだ期間について給与の支払いがないこと

以上の条件を満たした場合、4日目以降について支給することができます。

また、退職された場合であっても、以下の条件に該当した場合は、引き続き傷病手当金の支給を受けることができます。

- ①資格を喪失した日の前日（退職日等）までに1年以上の継続した被保険者期間があること
- ②被保険者資格喪失日の前日（退職日等）に傷病手当金の支給を受けているか、受けられる状態にあること
- ③同一の傷病により、資格喪失後も引き続き療養のため労務不能であること
- ④労務不能期間が継続していること

«支給期間»

支給開始日から支給期間（実際に支給された期間）を通算して1年6か月の期間を限度として支給されます。

«支給額»

1日あたりの金額：支給開始日の以前12か月間の各月の標準報酬月額を平均した額÷30日×2/3

都道府県別件数割合が高い傷病（令和6年10月分）

		1位		2位		3位	
		傷病	件数割合	傷病	件数割合	傷病	件数割合
1	東京	精神及び行動の障害	51.11	新生物	10.74	筋骨格系及び結合組織の疾患	6.16
2	大阪	精神及び行動の障害	45.33	新生物	13.01	筋骨格系及び結合組織の疾患	7.77
3	愛知	精神及び行動の障害	41.88	新生物	12.89	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.24
4	神奈川	精神及び行動の障害	40.99	新生物	14.56	循環器系の疾患	8.38
5	京都	精神及び行動の障害	40.33	新生物	14.38	筋骨格系及び結合組織の疾患	7.75
6	兵庫	精神及び行動の障害	39.52	新生物	15.15	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.30
	全国	精神及び行動の障害	39.15	新生物	14.49	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.76
7	山梨	精神及び行動の障害	38.16	新生物	14.57	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.46
8	福岡	精神及び行動の障害	38.14	新生物	15.78	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.27
9	長野	精神及び行動の障害	37.83	新生物	14.42	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.63
10	岡山	精神及び行動の障害	36.89	新生物	13.98	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.18
11	沖縄	精神及び行動の障害	36.82	新生物	11.67	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.43
12	岐阜	精神及び行動の障害	36.47	新生物	15.84	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.27
13	広島	精神及び行動の障害	36.38	新生物	15.44	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.32
14	滋賀	精神及び行動の障害	36.35	新生物	13.96	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.11
15	埼玉	精神及び行動の障害	36.33	新生物	15.15	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.94
16	宮城	精神及び行動の障害	35.60	新生物	15.20	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.56
17	鳥取	精神及び行動の障害	35.52	新生物	15.09	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.21
18	香川	精神及び行動の障害	35.14	新生物	13.50	筋骨格系及び結合組織の疾患	11.15
19	奈良	精神及び行動の障害	35.12	新生物	13.57	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.78
20	福井	精神及び行動の障害	34.89	新生物	17.14	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.05
21	千葉	精神及び行動の障害	34.72	新生物	15.32	循環器系の疾患	9.82
22	石川	精神及び行動の障害	34.71	新生物	17.20	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.02
23	静岡	精神及び行動の障害	34.33	新生物	14.55	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.14
24	北海道	精神及び行動の障害	33.92	新生物	19.17	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.41
25	新潟	精神及び行動の障害	33.91	新生物	17.19	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.28
26	福島	精神及び行動の障害	33.88	新生物	15.75	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.46
27	山形	精神及び行動の障害	33.79	新生物	16.80	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.96
28	愛媛	精神及び行動の障害	33.72	新生物	14.19	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.82
29	岩手	精神及び行動の障害	33.40	新生物	17.04	循環器系の疾患	9.46
30	熊本	精神及び行動の障害	33.35	新生物	16.23	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.91
31	島根	精神及び行動の障害	33.15	新生物	15.64	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.79
32	高知	精神及び行動の障害	32.59	新生物	15.42	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.18
33	佐賀	精神及び行動の障害	32.36	新生物	16.29	損傷、中毒及びその他の外因の影響	8.96
34	富山	精神及び行動の障害	31.68	新生物	17.92	損傷、中毒及びその他の外因の影響	8.46
35	長崎	精神及び行動の障害	31.61	新生物	18.11	筋骨格系及び結合組織の疾患	11.19
36	三重	精神及び行動の障害	31.61	新生物	16.33	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.69
37	茨城	精神及び行動の障害	31.50	新生物	16.66	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.30
38	大分	精神及び行動の障害	31.22	新生物	15.87	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.76
39	群馬	精神及び行動の障害	31.05	新生物	15.75	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.66
40	栃木	精神及び行動の障害	30.78	新生物	18.31	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.33
41	和歌山	精神及び行動の障害	30.45	新生物	16.63	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.95
42	鹿児島	精神及び行動の障害	30.27	新生物	13.96	筋骨格系及び結合組織の疾患	11.29
43	徳島	精神及び行動の障害	29.68	新生物	18.10	筋骨格系及び結合組織の疾患	11.27
44	山口	精神及び行動の障害	29.63	新生物	17.37	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.32
45	宮崎	精神及び行動の障害	28.00	新生物	17.01	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.22
46	秋田	精神及び行動の障害	27.23	新生物	18.38	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.88
47	青森	精神及び行動の障害	27.22	新生物	21.25	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.35

都道府県別資格喪失者の件数割合が高い傷病（令和6年10月分）

		1位		2位		3位	
		傷病	件数割合	傷病	件数割合	傷病	件数割合
1	東京	精神及び行動の障害	73.50	新生物	6.90	循環器系の疾患	5.20
2	岡山	精神及び行動の障害	68.90	新生物	7.64	筋骨格系及び結合組織の疾患	7.45
3	大阪	精神及び行動の障害	68.52	新生物	8.05	筋骨格系及び結合組織の疾患	6.37
4	愛知	精神及び行動の障害	65.50	新生物	9.50	循環器系の疾患	7.65
5	京都	精神及び行動の障害	64.79	新生物	10.98	循環器系の疾患	6.16
6	神奈川	精神及び行動の障害	64.61	新生物	9.25	循環器系の疾患	7.83
7	福岡	精神及び行動の障害	63.85	新生物	8.95	筋骨格系及び結合組織の疾患	7.17
	全国	精神及び行動の障害	63.75	新生物	9.29	循環器系の疾患	7.37
8	山梨	精神及び行動の障害	63.27	循環器系の疾患	9.69	新生物	7.65
9	島根	精神及び行動の障害	63.04	新生物*	7.97	筋骨格系及び結合組織の疾患	7.97
10	兵庫	精神及び行動の障害	63.02	新生物	9.26	筋骨格系及び結合組織の疾患	7.44
11	山形	精神及び行動の障害	62.81	新生物	9.92	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.09
12	福島	精神及び行動の障害	62.40	新生物	11.20	循環器系の疾患	8.00
13	福井	精神及び行動の障害	62.19	新生物	10.45	神経系の疾患	6.47
14	沖縄	精神及び行動の障害	62.17	新生物*	8.93	皮膚及び皮下組織の疾患*	8.93
15	滋賀	精神及び行動の障害	61.90	新生物	9.84	循環器系の疾患	8.89
16	香川	精神及び行動の障害	61.40	新生物	8.09	循環器系の疾患	7.35
17	熊本	精神及び行動の障害	61.17	新生物	8.97	循環器系の疾患	8.24
18	佐賀	精神及び行動の障害	61.13	新生物	12.96	循環器系の疾患	8.91
19	長野	精神及び行動の障害	61.04	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.82	新生物	9.52
20	奈良	精神及び行動の障害	60.39	新生物	9.80	循環器系の疾患	8.63
21	埼玉	精神及び行動の障害	60.18	新生物	10.93	循環器系の疾患	7.28
22	宮城	精神及び行動の障害	59.90	新生物	10.58	循環器系の疾患	8.19
23	石川	精神及び行動の障害	59.79	新生物	13.29	循環器系の疾患	8.74
24	広島	精神及び行動の障害	59.58	新生物	10.30	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.64
25	高知	精神及び行動の障害	59.36	循環器系の疾患	10.70	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.56
26	富山	精神及び行動の障害	59.17	新生物	9.58	循環器系の疾患	7.92
27	岐阜	精神及び行動の障害	58.11	新生物	12.67	循環器系の疾患	8.78
28	大分	精神及び行動の障害	58.10	新生物	9.79	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.56
29	鳥取	精神及び行動の障害	57.97	循環器系の疾患	12.32	新生物	8.70
30	愛媛	精神及び行動の障害	56.64	新生物	10.03	循環器系の疾患	8.77
31	栃木	精神及び行動の障害	56.47	循環器系の疾患	13.18	新生物	9.65
32	長崎	精神及び行動の障害	56.46	新生物	9.87	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.86
33	静岡	精神及び行動の障害	55.95	新生物	12.21	循環器系の疾患	9.26
34	北海道	精神及び行動の障害	55.87	新生物	11.79	循環器系の疾患	10.15
35	千葉	精神及び行動の障害	55.82	循環器系の疾患	10.17	新生物	9.58
36	群馬	精神及び行動の障害	55.79	新生物	10.62	循環器系の疾患	10.04
37	新潟	精神及び行動の障害	55.27	新生物	12.52	循環器系の疾患	10.74
38	岩手	精神及び行動の障害	55.17	循環器系の疾患	12.26	新生物	11.49
39	和歌山	精神及び行動の障害	55.06	新生物	12.15	筋骨格系及び結合組織の疾患	11.34
40	茨城	精神及び行動の障害	55.01	新生物	12.48	循環器系の疾患	10.51
41	山口	精神及び行動の障害	54.98	新生物	13.65	循環器系の疾患	8.12
42	徳島	精神及び行動の障害	54.55	筋骨格系及び結合組織の疾患	12.50	新生物	10.80
43	三重	精神及び行動の障害	53.48	循環器系の疾患	10.79	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.35
44	秋田	精神及び行動の障害	53.00	新生物	11.50	循環器系の疾患	11.00
45	鹿児島	精神及び行動の障害	52.93	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.94	新生物	10.35
46	宮崎	精神及び行動の障害	51.22	循環器系の疾患	11.92	新生物	10.03
47	青森	精神及び行動の障害	48.88	循環器系の疾患	14.70	新生物	11.82

* 同率2位のもの